

ビジネスプランコンテスト 2010

Matsue Open Source Business Plan Contest 2010

<http://www.shimane-oss.org/biz-contest2010/>

第2回

(V) o ¥ o (V)

オープンソースソフトウェア活用のビジネスについては、オープンソース導入におけるコンサルティングやメンテナンスのサービス、オープンソース言語の柔軟性を活用したソフトウェア開発など、オープンソースの特長を生かしたビジネスが進められています。このオープンソースのビジネスモデルは未知数の部分が多くあり、オープンソースを活用した収益モデルの確立に向けて探索期が続いています。

本コンテストでは、オープンソースを活用したビジネスに関心のある方々から様々なビジネスプランを募集・審査し、優秀なプランを表彰することにより、この分野におけるビジネスの可能性に光を当て、もって、オープンソース活用の気運のさらなる醸成を図ることを目的とします。

今般、オープンソース活用の気運をさらに盛り上げるべく、第2回となる『松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト2010』を開催致します。

オープンソースを活用したビジネスにご関心のある方々からの積極的なご応募をお待ちしております。

ビジネス活用部門

オープンソースを活用したビジネスに関心のあるプログラマー、エンジニア、経営者、研究者等を対象。プログラマー+経営者等、複数(3人まで)のチームでの応募可。原則として、**個人(一般)での応募**とします。

表 最優秀賞(1名・団体)・・・賞金 10万円
優 秀 賞(1名・団体)・・・賞金 2万円
彰 奨 励 賞……………賞金 1万円

学生部門

オープンソースを活用したビジネスに関心のある学生(高校生以上)を対象。**個人、もしくはグループ・団体での応募**とし、グループ・団体の人数は問いません。

表 最優秀賞(1名・団体)・・・副賞 5万円相当
優 秀 賞(1名・団体)・・・副賞 1万円相当
彰 奨 励 賞……………副賞 5千円相当

【募集締切】

2010年1月12日(火) 必着

【最終審査会】

2月19日(金) 松江テルサ大会議室 / 同日表彰式

【審査委員】しまねOSS協議会 会長 井上 浩 氏 / しまねソフト産業ビジネス研究会 代表 吉岡 宏 氏 / 楽天技術研究所 所長 森 正弥氏
株式会社スマートスタイル 代表取締役 野津和也 氏 / 日経BP社 IT Pro 副編集長 高橋信頼 氏 / 島根大学総合理工学部 教授 縄手雅彦 氏
松江市 産業経済部 参事 田中哲也 氏

【主催】松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト実行委員会 (松江市+しまねOSS協議会) **【後援】**島根県 / 財団法人しまね産業振興財団 / 島根大学 / 松江高専

【お問い合わせ先】松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト実行委員会事務局 担当:角田、川上
〒690-8540 松江市末次町86番地 松江市産業経済部企業支援課内 / 電話:0852-55-5518 / E-mail:oss-contest@city.matsue.lg.jp(申請書類送付先)

【ビジネス活用部門】 オープンソースを活用した新しいビジネスプランを対象とします。

【学生部門】 学生のアイデアによるビジネスプランを対象とします。

※どちらの部門ともに、応募者の居住地は問いません。ご応募をお待ちしております。

【応募方法】

<http://www.shimane-oss.org/biz-contest2010/> から所定の応募用紙をダウンロードいただき、必要事項を記入の上、事務局宛まで電子メールでお送り下さい。なお、ファイル形式は、PDFにご変換下さい。応募用紙は、アンケートも含め、**最大4ページ**でお願い申し上げます。応募様式の記入枠は、応募者が各自調整いただいて構いません。

- * 応募プランは、ビジネスとして何らかの形でオープンソースを活用したものであり、応募者/グループによって開発、考案された**オリジナル**なもの。ビジネス展開の準備中、もしくは、構想段階にあるもの。
- * 応募プランは、未公開・未発表のものであることが望ましいが、既に、開発済みのシステム、アプリケーションや、ビジネスとして展開中のものであっても、本応募において、新たなアイデア、プラン等を付加することによって、応募することができます。
- * 応募プランは、Apache、Linux、MySQL、Perl、PHP、PostgreSQL、Python、Ruby等のオープンソースソフトウェアを活用したビジネス展開（ソフトウェア開発の段階からオリジナルなもの）、もしくは、これらのソフトウェアによって開発され、既に公開されているソフトウェア（オープンソースのCMS各種、OpenOffice.org等）についても、**組み合わせ**によって新しいビジネスが考えられる場合、オープンソース活用のビジネスモデルとして応募対象とします。
- * 応募対象の分野は問いません。現在、研究・開発中の技術やシステムを発展させたビジネスや、ビジネス上の課題や実体験を基にした課題解決型のビジネス、地域活性化やオープンソースに関わる教育モデル、地域SNSを活用したモデル等、応募者の斬新なアイデアを期待します。
- * 本コンテストでは、「オープンソース」を、オープンソース系プログラミング言語で開発されたソフトウェアそのもの、もしくは、ソースコードが公開されているソフトウェアと捉えています。**サービス提供の段階でソースコードを公開するかどうかは問いません。**

1 一次審査(書面審査)

ビジネス活用、学生部門毎に、応募書類をもとに、以下の項目について評価を行います。それぞれ上位の方・団体については「入選者」として最終審査に進んでいただきます。一次審査通過者・団体には事務局より個別にご連絡します。

- ① **オープンソース活用度**……オープンソースに対する理解、活用度（技術面・応用面）等を審査
- ② **新規性**……新規性・進歩性を審査
- ③ **収益性**……ビジネスとしての収益性を審査
- ④ **実現可能性**……実現可能性、ビジネスプランとしての完成度等を審査

※**審査委員について**：審査委員は、審査委員が所属する企業等に関係の深い者からの応募があった場合、当該審査委員は、その審査には関わらない等、審査の公平性への配慮を行うこととします。

2 最終審査(プレゼンテーション審査)

一次審査通過者は、2月19日（金）に開催される「最終審査会」に出席いただき、応募ビジネスプランについて15分間のプレゼンテーションをしていただきます。左記の項目に⑤**プレゼンテーション**を加えて、審査委員による最終審査を行います。

最終審査会への出席に旅費が必要な場合、1応募につき1名分の往復交通費を負担いたします（実費、日本国内）。なお、支払いについては、領収書、半券（空路の場合）等の証憑書類をご提出いただいた後、3月末日までの支払いになります。この旨ご了承ください。

- * 2月19日（金）開催の最終審査会に応募者が出席できない場合は、最優秀賞、優秀賞の審査対象から外れることになります。
- * 1次審査を通過したビジネスプランについては、「応募者/グループ」、「ビジネスプランの名称」、「ビジネスプランの概要」を公表いたします。公表について差支えがないよう、記述にはご配慮下さい。
- * 最終審査会におけるプレゼンテーションは公開となりますので、その旨ご了解の上、秘匿情報、ノウハウ等についてはご配慮下さい。
- * 審査結果（1次、最終）に対する個別のお問い合わせには回答はできません。
- * 応募書類の記載内容に事実と反する記述等があった場合には、入選・受賞を失格として取り消す場合があります。
- * 最終審査会終了後、本コンテストの開催報告として、会場写真をWebページに掲載します。この旨ご了承ください。昨年度の開催報告については <http://www.shimane-oss.org/biz-contest2009/> をご参照下さい。
- * 個人情報の利用については、本コンテストにおける審査、最終審査のお知らせ等の目的において主催団体が管理、責任者として利用し、他の目的には一切使用しません。

【お問い合わせ先】 松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト実行委員会事務局 担当:角田、川上

〒690-8540 松江市末次町86番地 松江市産業経済部企業支援課内 / 電話:0852-55-5518 / E-mail:oss-contest@city.matsue.lg.jp(申請書類送付先)